

第 9 号

2001年6月1日

○発行

鳥取市立川町5丁目417番地

鳥取こども学園後援会

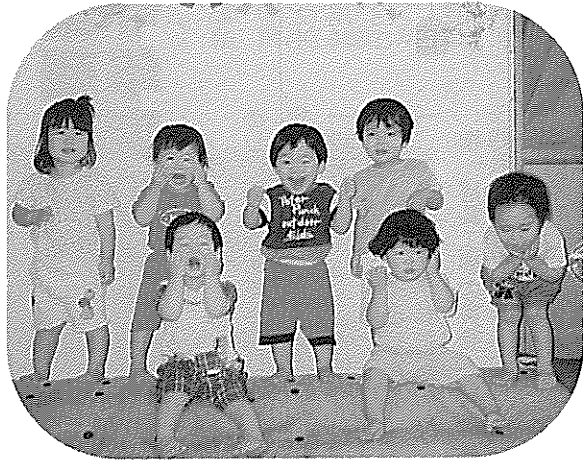
電話 (0857)22-4206

○振込口座

郵便振替 01490-9-9106

題字 尾崎梯之助

鳥取こども学園 学園だより



「愛の灯」を二十一世紀も

— 理事長就任のご挨拶 —

鳥取こども学園 理事長 尾崎 淑子

「幸福な家庭は、みな一様に似かよっているが、不幸な家庭は、いずれもとりどりに不幸である」。トルストイの小説「アンナカレーニナ」は、このような言葉で始まります。これは、幸せのパターンは大差な

いが、不幸の形は多様であることを語っています。不幸への対応は難しく、きめ細かな、より心を配った温かい継続が求められると思います。

今から一世紀近く前、尾崎信太郎が「鳥取こども学園」の前身である「鳥取孤児院」を創設した時、子どもたちにとって最大の不幸は、親のないことでした。日露戦争による多くの戦争孤児等、この子らの不幸を和らげたい、こども学園はこのような動機から始められました。百年近くたった今、日本に戦争孤児はいません。しかしとりどりの不幸があるというトルストイの言葉とおり、戦争や天災のように皆が分かちあう不幸に代わり、私たちは時代の多様化にともない様々な悩みを抱えるようになりまし

た。
鳥取こども学園の歴史は、このような悩

みや不安を、神様のお守りにより少しでも和らげ、子どもたちを幸せに近づける試みであったように思います。鳥取みどり園や鳥取フレンド、希望館。鳥取こども学園に連なるこれらの施設は、子どもをめぐる状況が一樣でない今、それぞれの場で、子どもたちを幸せに近づけることを目的としています。

人の数だけ、家庭の数だけ悩みや不安がある時代に、それぞれに対応することは、大変難しいことですが、児童一人ひとりの幸せを大切に、社会の福祉ニーズに柔軟に対応して励んでいきたいと思えます。

冒頭に掲げたトルストイの言葉は前理事長・尾崎良一がよく引用していた言葉です。「児童一人ひとりの幸福を大切に、地域に開かれた施設、地域に愛される施設、地域と共にある児童福祉施設を目指して、二十一世紀を迎えたい」という前理事長の祈りを心に刻み、地域社会、諸先輩、代々の職員の方々の愛の支援に支えられてきた鳥取こども学園の「愛の灯」を二十一世紀も灯し続けるため、一層努力いたしたいと思えます。皆様の変わらぬご支援、ご鞭撻を願います。就任のご挨拶といたします。

二〇〇〇年度
事業報告及び
今年度の事業計画

《法人本部》

病床にあっても、最後まで鳥取こども
 学園に心血をそそぎ続けた理事長・尾崎
 良一さんが今年一月十五日、天国に召さ
 れた。故人の生前からの指示どおり、日
 本基督教団鳥取教会で、元鳥取県副知事
 の冲正さんを葬儀委員長とし、しめやか
 に葬儀が行われました。

思えば、昨年十一月に刊行された「鳥
 取みどり園五十年史・小さな思い出」が、
 尾崎良一さんの絶筆となった。わたした
 ちは故人のロマンティズムと「愛はい
 つまでも絶えることがない」という創立
 の精神を受け継ぎたいと思います。

どうか、天国でいつまでもわたしたち
 を見守っていてください。

その後、故人の奥様・尾崎椒子さんに
 理事長就任をお願いし、四月十七日の理
 事会で選任しました。ご報告し、神様
 の恵みのもと、引き続き皆様のご支援を
 お願い申し上げます。

鳥取こども学園は、五年先の二〇〇六
 年には、創立百周年を迎えます。今年度
 は、「第二次五か年計画」の最後の年で

あり、創立百周年へ向けた「第三次五か
 年計画（二〇〇二～二〇〇六年）」の第
 一步を踏み出したいと願っています。

今年度事業としては次のとおり

- 一、鳥取こども学園希望館「教育・治療
 棟」建築工事の実施（鉄骨二階建、延
 床面積五六四・二八平方メートル）

日本財団、鳥取県、鳥取市、鳥取県
 教育委員会、鳥取市教育委員会などの
 補助金を得て八月着工、来年一月完成
 を目指しています。

《お知らせ》

この工事に伴って、七月初旬には、
 旧しらゆりホームが取り壊されます。
 懐かしく思われる方々も多いと思われ
 ますので、お知らせします。

二、創立百周年へ向けた「第三次五か年

計画」の策定と法人運営施設の連携強
 化、法人財政基盤の強化を図ります。

三、「子どもの最善の利益・子どもの人
 権オンブズマン」を目指して、「苦情
 処理委員会」をたちあげました。よろ
 しく願っています。

2000年度各施設の月別利用状況及び2001年5月1日付入所状況

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計	2001年 5月1日付
養護施設	未満児	139	140	140	140	140	139	141	240	240	240	239	239	1795	0
	見守り	7	8	8	8	8	8	8	8	8	8	8	8	95	38
情 施	短所	22	23	23	24	24	24	25	27	27	27	28	27	301	26
	通所	13	15	15	15	14	14	14	15	15	15	15	15	175	14
		実人数：1,175人 延人数2,078人													
子ども家庭支援センター 希望館		実相談件数(電話96、来所134、訪問17):247件、延相談件数(電話119、来所160、訪問23):302件													302件
鳥取フレンド		12	11	10	11	10	10	10	10	9	12	11	11	127	11
保 育 所		158	158	161	160	160	161	161	163	163	165	162	166	1,938	148
子育て支 援センター	利用家庭数	182	225	324	248	268	312	300	288	222	182	250	255	3,054	189
	一日平均	12	14	16	15	18	20	17	17	16	12	13	20	187	14

本部会計決算書

(収入)

科 目	予 算 額	決 算 額	比較増減(Δ)額
補助金収入	33,626,000	33,660,125	34,125
寄付金収入	8,629,000	10,629,220	2,000,200
雑 収 入	1,865,000	1,946,804	81,804
繰入金収入	880,000	880,000	0
合 計	45,000,000	47,116,149	2,116,149

(支出)

(単位 円)

科 目	予 算 額	決 算 額	比較増減(Δ)額
事務費支出	2,310,000	2,286,966	△ 23,034
元利償還金	5,062,000	5,061,900	△ 100
繰入金支出	37,076,000	36,836,110	△ 239,890
積立金繰入	552,000	2,800,000	2,248,000
合 計	45,000,000	46,984,976	1,984,976

歳入歳出差引き残金 ¥131,173-は次年度へ繰り越す。

(注) 事務支出には退職給与金を含む。

《児童養護施設

「鳥取こども学園」》

平成十二年度は平成十一年度からの継続入所児童二十八名に、新規入所児童一名を加えた計二十九名（未満児一名、年少児七名、小学生十一名、中学生八名、高校生九名、その他三名）でスタートしました。

その後の入所児童の変動は、四月の途中に年少児一名、六月に高二児童一名、小二児童一名、九月末に小一と六年の姉弟二名、十二月に未満児一名、年度末近くなった三月に小四と二年の兄妹二名、合計八名の入所がありました。

平成十二年度の退所は、五月連休明けに小六と小三の兄妹二名、九月にその他一名、十一月に中三児童一名、計六名の年度途中退所があり、それ以外は全て年度末の三月で、高卒児童二名、中卒児童一名、年少児一名が退所し、年間で十名の児童が退所しました。高卒の二名は県内就職、その他の一名は東京の自立援助ホームへ、中卒の一名は鳥取フレンドへ、残りの児童六名は家庭復帰となったものです。

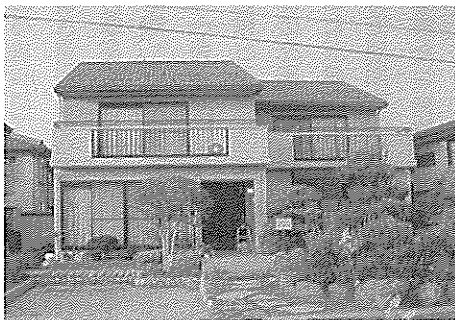
平成十三年度は、継続入所児童三十七名に新規入所児童一名を加えた三十八名

（年少児七、小学生十四、中学生五、高校生十一、その他一）でスタートすることとなりました。

東雲寮が
新居に引っ越し

一九九三年四月から八年間、鳥取東高前の野村宅を借りて実施していたグループホーム「東雲寮」の担当職員が、中尾充伸保育士ご夫妻から森川生子主任保育士ご夫妻に交代したのを機会に、転居しました。

住所は鳥取市吉成東井手口一五〇一三で、家賃十一万円の豪邸です。森川夫妻の実子お一人と五人の女子高校生が、この四月から新生活をスタートしました。



自活訓練ホーム「東雲寮」

児童養護施設 施設会計決算書

(収入)

科 目	予 算 額	決 算 額	比較増減(Δ)額
措置費収入	131,436,000	131,545,943	109,943
補助金収入	1,537,000	12,536,740	△ 260
寄付金収入	718,000	718,130	130
雑 収 入	3,683,000	3,624,845	△ 58,155
引当金戻入	2,626,000	3,200,000	574,000
合 計	151,000,000	151,625,658	625,658

(支出)

(単位 円)

科 目	予 算 額	決 算 額	比較増減(Δ)額
事務費支出	118,400,000	119,119,856	799,856
事業費支出	32,600,000	32,363,522	△ 236,478
引当金繰入	0	0	0
合 計	151,000,000	151,563,378	563,378

(注) 雑収入には職員給食代を含む。

歳入歳出差引き残金 ¥62,280-は次年度へ繰り越す。

- 平成十二年十二月～十三年五月
- 〔学園関係〕
- 12月3日 餅つき大会：鳥取いなばライオンズクラブ
 - 13日 餅つき招待：NTT-TIME中国鳥取支店
 - 17日 学園クリスマス祝会
 - 23日 ラーメン屋敷プレゼント：丸ハラーメン屋台
 - 24日 クリスマスイブ・ホームパーティー
 - 1月2日 OB会新年すきやきパーティー
 - 11日 希望館通所部門・とんど焼き学園創立記念日
 - 13日 鳥取ライオンズクラブ学園卓球大会：鳥取ライオンズクラブ
 - 2月2～6日 児童福祉展（鳥取大丸）
 - 24～25日 高校生会スキー合宿（氷ノ山スキー場）
 - 3月1日 コロケコンサート招待（県民文化会館）：日本海新聞社
 - 12日 希望館通所部門・卒業生を送る会
 - 14日 高校生卒園生を送る会
 - 5月2日 児童福祉週間・こいのぼり掲



《情短施設「希望館」》

平成十二年度は、入所宿泊部門二十二名でスタートしましたが、年度途中に四名の退所と、八名の入所があり、年度末には二名が家庭復帰退所をしました。また、通所部門は十三名でスタートしましたが、年度途中に二名が退所、中学生五名の入所があり、年度末には四名が中学校卒業と共に退所しました。この外、一名が小学校分教室を卒業し、中学校分教室に進学しました。

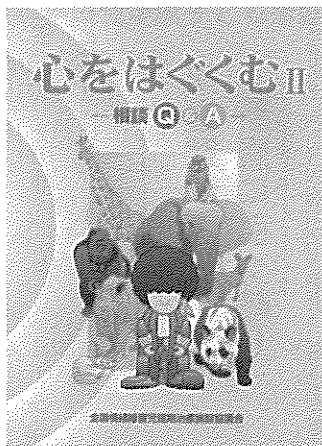
平成十三年度入所宿泊部門は、昨年十二年度からの二十三名に二名を加えた二十五名（小学生六名、中学生七名、高校生十一名、その他一名）でスタートし、通所部門は新規の二名を加え計十三名（小学生二名、中学生十一名）でスタートしました。

昨年度を省みれば、入所措置をされたきた子どものほほ七割が被虐待児童として扱われており、施設現場にも確実に世相の波が押し寄せてきていることを実感しています。入所してきた子どもの中には、小学校での「今年一番嬉しかったこと」という題の作文に、「希望館に入ったこと。希望館の先生や友達みんなが優しくしてくれることがいちばん嬉しかった。」といった内容を書いたエピソード

もありました。

ところで、今年度の事業の一つとして、各方面からの助成・補助金による「教育・治療棟」の建築を行ないます。八月着工、来年一月竣工の予定です。希望館の施設の整備とともに、子ども及び家庭等への援助の充実に一層努めます。

また、希望館に事務局を置く全国情緒障害児短期治療施設協議会では、昨年好評を得た一般保護者向けハンドブック「心をはぐくむー子育てQ&Aー」に続き、シリーズ第二弾「心をはぐくむIIー相談Q&Aー」(二五〇頁)を発行しました。今回のハンドブックは福祉・教育・医療をはじめとする関係相談機関の担当者向けに執筆・編集したもので、全国に二万冊を配付し、多くの反響をいただいています。今年度末には、福祉専門医療従事者を対象にしたシリーズ第三弾のケー



情短施設 施設会計決算書

(収入)

科 目	予算額	決算額	比較増減(△)額
措置費収入	137,411,000	142,096,092	4,685,092
補助金収入	3,046,000	3,181,370	135,370
寄付金収入	364,000	389,610	25,610
繰入金収入	0	0	0
雑収入	2,610,000	2,678,052	68,052
人権費引当金戻入	2,479,000	0	△ 2,479,000
修繕引当金戻入	1,000,000	996,085	△ 3,915
備品等購入引当金戻入	0	0	0
合 計	146,910,000	149,341,209	2,431,209

(注) 雑収入には職員給食代を含む。

(支出)

(単位 円)

科 目	予算額	決算額	比較増減(△)額
事務費支出	121,387,000	121,245,090	△ 141,910
事業費支出	25,523,000	25,410,702	△ 112,298
人権費引当金繰入	0	0	0
修繕引当金繰入	0	435,000	435,000
備品等購入引当金繰入	0	2,250,000	2,250,000
合 計	146,910,000	149,340,792	2,430,792

歳入歳出差引き残金 ¥417-は次年度へ繰り越す。

揚式(こどもの国)

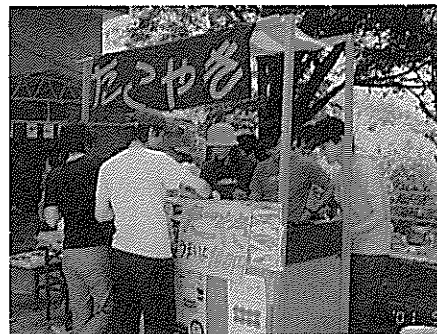
5月5日 GOSPELコンサート招待

(県民文化会館)

11日 希望館通所部門・春の遠足

(青島)

20日 学園こども祭り



学園こども祭り

〔みどり園関係〕

12月16日 クリスマス祝会

26日 もちつき大会

1月25日 参観日(講演会・給食試食会)

2月2日 伝承あそび(祖父母と一緒に)

8日 交通安全教室(保護者会主催)

17~19日 作品展

21日 わくわく子育て支援センター

「育児講座」…講師 竹内

保江氏

《保育所「鳥取みどり園」》

風薫る五月の空の下に、子どもたちの元気な声が響いています。四月に入園した子どもたちも徐々に園生活に慣れ、大好きな「お外」で、おもいおもいの遊びを楽しめるようになってきました。

今年度も、五年目を迎えた「地域子育て支援センター事業」をはじめ、昨年同様の特別保育事業を実施していくつもりです。

昨年は、創立五十周年という大きな節目の年でした。子どもたちの健やかな成長、保護者会の発展、そして地域のみなさんの支援に感謝しながら、子どもたち・保護者・職員が一丸となって祝う事ができました。ありがとうございました。

今年はその五十年という基盤の上に更なる一歩を踏みだそうとしております。時代の流れと共に地域の環境も変わり子どもたちにとって決して望ましい社会とはいえませんが

○今、私たちにできることは何か。伝え残すことは何か

○子どもたちにとって必要なことは何か

○地域に根ざした子育て支援のために

○（いと小さいもののために） 本当の保育事業はどうあるべきか

す子どもたち、その子どもたちを育てるにふさわしい保育園でありたいと考えております。

創立五十年目を迎えた二〇〇〇年度、当園にとって初めて男性保育士を採用しました。

保育士としての熱い想いを次に載せます。一年勤めた感想です。

「豊かな心」

保育士 中野 雅洋

子どもが好きだから、という理由で保育士になろうと決めたのは、僕が中学生の頃でした。そして夢が叶い、保育士として子どもと共に過ごすようになって、一年が過ぎました。子どもと一緒にいると様々な事に驚かされたり、感心させられたりします。ある時、地面に広がる沢山の落ち葉を見て、「はっぱのシュータンだ!」と言った子どもがいました。大人には思いもつかない事を気付き、想像する力、また、生き物を大切にしたり、困っている友達を助けてあげられるやさしい心や純粋さなどを、子どもは持っています。それらを、これから先も失ってほしくありません。子ども達に豊かな心を持ち続けてもらえよう、手助けとなる保育を心掛けていきたいと思えます。

保育所 施設会計決算書

(収入)

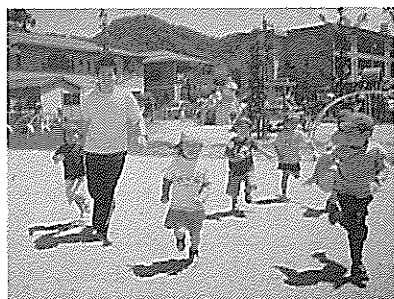
科 目	予 算 額	決 算 額	比較増減(△)額
運営費収入	122,586,830	123,062,250	475,420
補助金収入	29,008,680	28,894,783	△ 113,897
寄付金収入	100,000	111,300	11,300
利用料収入	534,450	602,150	67,700
雑 収 入	1,471,128	1,490,873	19,745
引当金戻入	3,268,226	1,000,000	△ 2,268,226
合 計	156,969,314	155,161,356	△ 1,807,958

(支出)

(単位 円)

科 目	予 算 額	決 算 額	比較増減(△)額
事務費支出	135,443,375	134,703,226	△ 740,149
事業費支出	18,908,939	18,947,314	38,375
引当金繰入	1,737,000	0	△ 1,737,000
繰入金支出	880,000	880,000	0
合 計	156,969,314	154,530,540	△ 2,438,774

(注) 雑収入には職員給食代を含む。 歳入歳出差引き残金 ¥630,816-は次年度へ繰り越す。



園庭で遊ぶ中野保育士

- 23日 シルエット観劇(市民会館)
 - 3月2日 ひなまつり
 - 14日 お別れ会
 - 24日 第五十回卒園式(卒園児37名)
 - 4月2日 進級式
 - 3日 第五十一回入園式
 - 4日 お花見会
 - 26日 春の親子遠足(こどもの国)
- 保護者会総会



修立小学校体験入学

22日 修立小学校体験入学(年長児)

《子ども家庭支援

センター「希望館」》

家庭支援センターの昨年度の相談件数は延べ三百件を超えました。相談の内容は多種多様です。乳児の離乳食からはじまって、発達の相談、虐待の相談、不登校の相談、中には進路の相談、家族関係など大人の相談もあります。相談の内容によつては、センターだけではなく、学園内の先生方、他施設、他機関に協力をお願いする場合も多くあります。

家庭支援センターは、携帯電話を利用することにより、二十四時間相談を受け付ける体制をとっています。センター設置当初は、携帯電話で受ける相談はほとんどありませんでしたが、昨年度から件数は増加の傾向にあります。また、子育てSOS支援ネットワークで利用しているパソコンを通じての相談もあり、相談の形も多様化してきました。この先、家庭支援センターの存在が広く普及していくことにより、相談の件数はますます増加していくと思われまます。

増加する支援を必要としている方々のニーズに応えられる家庭支援センターをこれからも目指していきたいと思ひます。

平成12年度子ども家庭支援センター実績

①相談方法別件数

相談方法	実件数	延件数
電 話	96	119
来 所	134	160
訪 問	17	23
その他()		
合 計	247	302

③夜間の対応、及び一時保護件数(延件数)

夜間の対応			一時保護	
来所	電話	訪問	件数	平均所用時間
2件	13件	件	2件	144時間

②相談内容別件数(実件数)

養 護 相 談 虐待(再掲)	保健 相談	障害 相談	非行 相談	育 成 相 談					その他の 相談	合 計	いじめ相 談(再掲)	
				性格行動相談	不登校相談	適性相談	しつけ相談	小 計				
22	19	9	24	1	37	31	53	34	155	36	247	1

子ども家庭支援センター「希望館」
会計決算書

(収入)		(単位 円)		
科 目	予 算 額	決 算 額	比較増減(Δ)額	
補助金収入	9,897,000	9,897,000	0	
(支出)				
科 目	予 算 額	決 算 額	比較増減(Δ)額	
事務費支出	9,897,000	9,897,000	0	

《自立援助ホーム

「鳥取フレンド」》

「自立援助ホーム」は、仕事に就いてその事を通していろんな経験をし、自立に結びつけていく場と考えています。しかし、現状は厳しく、仕事に就くことができなかったり、就いても続かなかったりすることが多々あり、「私達は何をしているのだろうか?」と困惑しています。

朝七時前に出勤する子は、朝食を食べ、弁当を持ってホームを出、夕方疲れて帰り、夕食を食べながら、職場で働にさわる人がいる話などし、そのうち、他に気持ちを求めてゆきます。また一方、失業してから時間が経ち、職員への反発もあつてか、なかなか仕事に就かずにいた子は、何とか面接までこぎつけ、採用の連絡をもらったのに体調をくずし、一週間遅れで通い始めました。「自分の仕事」と意識して、続けてほしいと願うばかりです。

また、求職活動を本人なりに懸命にしているのですが、断わられてばかりの子。状況を理解できていても、いざ行動に出せない子など、本人自身も悩んでいると思います。生活場面の約束は、守ってもらわないと困るのですが、彼ら一人一人に必要な援助は何なのか、関係者で話し合い、日々心がけたいと思ひます。

自立援助ホーム「鳥取フレンド」施設会計収支決算書

(収入)

科 目	予 算 額	決 算 額	比較増減(Δ)額
補助金収入	4,016,000	4,016,000	0
寄付金収入	820,000	820,000	0
雑 収 入	1,407,000	1,381,078	Δ25,922
引当金戻入	0	0	0
繰入金収入	2,700,000	2,700,000	0
前年度繰越	99,000	98,918	Δ82
合 計	10,884,000	10,918,596	34,596

(支出)

科 目	予 算 額	決 算 額	比較増減(Δ)額
事務費支出	6,199,000	6,188,151	Δ10,849
事業費支出	3,885,000	3,701,618	Δ183,382
引当金繰入	800,000	800,000	0
合 計	10,884,000	10,689,769	Δ194,231

歳入歳出差引残金 ￥228,827 - は次年度へ繰り越す。

(注) 雑収入には家裁、保護監察所からの保護委託費を含む。

当学園事業へのご寄付 後援会へのご加入に 感謝申し上げます。

以上204件、総額8,650,553円の後援会費・寄付金が寄せられました。

2000年度(2000年4月~2001年3月)の後援会費・寄付金は310件、総額で11,497,324円となりました。

心より感謝申し上げます。

寄 付 者 (2000.12~2001.5)

(敬称略)

氏 名				氏 名				氏 名				氏 名				
飯	塚	成	享	郡	孝	幸	戸	誠	藤	原	雅	夫				
相	見	園	臣	小	谷	怜	村	古	古	田	操	子				
秋	山	正	弘	吳	羽	美	鳥	分	分	銅	晶	子				
浅	井	廣	紀	小	橋	東	取	堀	堀	内		子				
浅	井	富	子	小	林	年	取	前	前	田		諭				
雨	井	一	就	小	田	勉	白	卷	卷	田		豊				
有	河	美	子	権	田	一	乳	牧	牧	田		豊				
池	田	ち	隆	権	田	子	販	正	正	田		子				
井	坂	時	令	斎	藤	将	株	町	町	岡		弘				
井	上	靖	夫	々	木	一	式	町	町	田		実				
石	戸	康	正	坂	井	子	会	松	松	田		司				
石	戸	喜	代	酒	巻	美	社	松	松	岡		子				
一	丸	珠	郎	斎	藤	代	会	松	松	嶋		明				
井	上	藤	江	斎	H	春	子	松	松	原		彦				
井	上	ユ	江	3	井	の	基	松	松	原		子				
入	上	裕	子	白	井	通	代	松	松	原		子				
入	江	一	枝	清	水	雅	会	松	松	原		雄				
岩	江	代	子	城	北	PTA	子	松	松	本		勲				
海	田	弘	美	山	陰	鳥	店	丸	丸	谷		枝				
奥	原	光	子	陰	同	取	東	水	水	本		清				
大	羽	徳	行	同	銀	東	支	宮	宮	本		之				
大	沢	美	利	セ	イ	一	ト	宮	宮	本		子				
岡	平	千	子	と	よ	さ	屋	森	森	本		本				
岡	田		穂	須	崎	康	夫	盛	盛	田		子				
尾	村	佳	喜	杉	村	淳	子	森	森	本		子				
荻	原	淑	子	杉	本		子	百	百	井		子				
小	原	知	通	鈴	木		力	安	安	口		子				
上	岡	啓	吉	千	石		教	山	山	下		弘				
海	藤	ひ	み	曾	我		芳	山	山	田		子				
垣	屋	ろ	枝	綜	合	印	道	山	山	山		店				
(向)	亀	地	実	合	印	刷	社	山	山	山		夫				
金	井	子	子	竹	本	伸	子	山	山	山		子				
兼	子	清	子	竹	本	薫	子	山	山	山		子				
川	谷	広	枝	田	川	健	子	山	山	山		子				
河	上	瑛	子	竹	中	工	治	山	山	山		次				
河	田	瑛	所	中	工	務	衛	山	山	山		順				
川	法	律	一	田	中	儀	衛	山	山	山		宏				
金	中		臣	田	中	耕	子	山	山	山		(株)				
川	田		一	田	中	典	子	山	山	山		車				
菊	口		子	田	中	佳	子	山	山	山		ね				
岸	地		子	谷	口	真	吾	山	山	山		子				
岸	地		子	田	谷	博	文	山	山	山		江				
岸	力		店	田	谷	幸	子	山	山	山		子				
岸	ラ		之	玉	田	敏	久	山	山	山		司				
岸	照		園	田	塚	喜	美	山	山	山		健				
木	田		正	塚	辻	裕	成	山	山	山		枝				
久	本		治	(向)	常	田	局	山	山	山		夫				
蔵	本		子	常	田	二	郎	山	山	山		氏				
幸	本		男	手	皮	小	四									

物品寄付者 (2000.12~2001.5)

(敬称略)

氏名	氏名	氏名	氏名
秋崎るり子	川下寛之	谷口	鳥取県中小企業団体中央会
井上亜弓	岸本きよみ	竹内幸子	保護鑑察所
岩永文彦	黒川和子	竹ノ下	松田章義
(有)光琳	幸本文男	大樹寺	松山はるえ
岡村宇	千石真知子	(株)竹中工務店 鳥取営業所	松島頼子
奥山義政	全国養護施設助け合い運動	日本鏡餅組合	山中靴店(株)
加藤利勝	曾我修道	鳥取教会 婦人部	山本正明
川島勝子	大協ダイヤモンド会	鳥取西中学校	山本和博
	谷口とうふ店	西尾琉璃子	(有)アグリ・フロンティア

鳥取子ども学園後援会 平成12年度収支決算書

(収入) 自H12.4.1 至H13.3.31

(単位:円)

科目	金額			摘要
	当年度	前年度	増減(Δ)	
後援会費	2,268,104	2,851,376	Δ 583,272	263件
雑収入	2,284	1,899	385	預金利息
前期繰越金	3,568,950	3,575,915	Δ 6,965	11年度繰越
合計	5,839,338	6,429,190	Δ 589,852	

(支出)

(単位:円)

本部会計へ寄付	1,400,000	2,800,000	Δ 1,400,000	自立援助ホームへ
役員費	10,255	10,240	15	
施設会計へ寄付	0	50,000	Δ 50,000	
雑費	0	113,620	113,620	ヒムプレイヤー
合計	1,523,875	2,860,240	Δ 1,336,365	

歳入歳出差引残金 ¥4,315,463-は次年度へ繰越す。

鳥取子ども学園
同窓会のご案内

毎年、盆の8月14日と正月の1月2日の夕方6時半に学園の地域交流ホームで、同窓会を行っています。なつかしい顔に会えますので、お気軽においでください。

「鳥取子ども学園後援会」加入と会費納入のお願い

鳥取子ども学園の事業は、言うまでもなく「民間社会事業」です。「制度」も何もないところから出発した創立当初の困難を想い、民間社会事業の先駆性・献身性を受け継ぎたいと思います。公的な制度と資金だけでは到底足りません。

「鳥取子ども学園後援会」加入と会費納入をお願いします。

お陰様で、1981(S.56)年に借りた5千万円の借金の返済(毎年元金249万円×20年)が、完了しました。感謝!まだ毎年、元金188万円の返済が残っている他、更に今年は、「教育治療棟」建築や第1児童棟雨漏り修理などで3千万円の自己資金出費を見込んでいます。更なるご支援をお願いします。

1. 「鳥取子ども学園後援会」へご入会下さい。
2. 地域、職域でできるだけ友人・知人に呼びかけて下さい。
3. 個人でも団体でも、会社や法人でも加入出来ます。
4. 年会費は、個人1口3,000円、団体・法人1口10,000円で、1口以上何口でも結構です。

会費・寄付金は下記へ

鳥取子ども学園後援会事務局: 〒680-0061 鳥取市立川町5-417 鳥取子ども学園内

☎(0857)22-4206・21-9551 FAX23-0242

振込み口座名義: 社会福祉法人鳥取子ども学園 理事長 尾崎淑子

振込口座: 郵便振替 01490-9-9106 山陰合同銀行鳥取東支店 普通 2124157

鳥取銀行本店 普通 7645611

お願い

この「学園だより」は、当法人にご理解、ご協力いただいている皆さまに、施設の様子やご寄付等を報告する意味で発刊し、お送りしています。

同封しています寄付金・会費の振込み用紙は、あくまでも皆さまの便宜を考えてのことです。

今後とも、当法人を温かく見守って下さいますよう、心よりお願い申し上げます。